

弥生三月、まだまだ寒さの残る日が続きました  
が、日差しには春の気配を感じることも多く  
なつてまいりました。

本日（）に第三十六回卒業証書授与式を挙行  
いたしましたところ、「」来賓の皆さまには公私  
何かとご多用にもかかわりませず、「」臨席を賜  
り卒業生を祝福いただきます」と、この上なく  
有難く、高いところからではござりますが厚くお  
礼申し上げます。

このよくな晴れの場で、ただいま一八九名の卒  
業生、一人一人に卒業証書を渡すことができま  
した。まことに喜ばしい限りでござります。  
卒業生のみなさん、ほんとうにおめでとう。

保護者の皆さま、本日はおめでとうございます。

義務教育最後の三年間、愛情を注がれ、育てて

これらたお子様たちがこのように立派に成長され、ここにまでたく卒業の日を迎えるましたこと、そのお喜びは、言葉に尽くせぬものがあるううかとお察し申し上げます。学校教職員を代表いたしまして改めまして、心よりお祝い申し上げたいと思います。

さて、卒業生の皆さん、墨江丘中学校での三年間、君たちは勉強に運動に励んできました。また、たくさん経験、楽しかったこと、苦しかったこと、うれしかったこと、悲しかったこと、悔しかったこと、など、多くを積んできました。手にある卒業証書は一枚ですが、その重みは皆さんにとってはずつと重みのあるものではないでしょうか。今、ここに、ものごとを成し遂げ達成した満足感を皆さんには、心の底から感じていてることと想います。

ただ、手元にあるその重い重い卒業証書には、皆さん一人一人の大きな努力はもちろんですが、その努力を支えてくださったご家族の方々の毎日の変わらない愛情、地域の皆様のお力添え、そして今日まで導いて来てくださった先生方の尽きぬ思いも込められていることは、しっかりと覚えておいてほしいと思います。

彼らには、目には見えないけれど、一緒に歩み、励ましてくれた友だち、仲間の支えがあつたこともうれないで欲しいです。

三年間を振り返りますと、小学校から中学校へ、大人へ半歩、踏み出した入学式に始まり、先生が変わる日々の授業、定期テスト、新しい通知表、学校行事では一泊移住、体育大会、修学旅行、文化祭と、本当に小学校から中学になつて多くのできごとを皆さんに体験してきました。

私は、この一年間、みなさんを見ていて、また  
いつもよに過ぐして、三年生のみなさんはいつも  
の感動を私に与えてくれました。

毎日の笑顔あふれるみなさんの挨拶、体育大  
会で見せた組体操での底力と頑張り、文化祭で  
の大きな声、全力での合唱、修学旅行で大笑い  
したスタンツ、でも、そのコントで一緒になつてみ  
んなを笑わせてくれた先生方の本当のやさしさ、  
そして、その先生のほんとうを知つたその時の君  
たちの真剣な表情など、どれ一つ忘れることはで  
きません。すべて、先生と友達と心が一つになつた  
瞬間を見てきました、それぞれがほんとうに感  
動しました。また、どのときも君たちの笑顔は  
最高に素晴らしい。私にとっては、うそ偽り  
のないそのほんとうの笑顔は、君たちから送られ  
た宝物そのものでした。

さて、これから皆さんが歩む、外へ目を転じますと、日本の社会も世界の動きも大変激しいものがあります。この厳しい現代社会では大人でさえ不安を持ち、将来を模索しています。そして今まさに、新しい社会の仕組みが生み出されようともしています。今まであった社会の慣例や仕組みが崩れつつあるのです。この変化は、社会のシステムが変わるものなど、目に見えるものばかりではありません。

今は、一人一人の考え方にも変化を求められているのです。その大きな変革には大人は戸惑うばかりですが、君たちは未来に活躍する人たちです。この不確かな世の中にあって、大人より君たちの方がはるかに変化に適応する力に優れているはずです。そして君たちが活躍し主役になる時代がやがて来ます。その未来を夢見てほしいのです。

今は、みなさんにとっては、未来というのは、見えない地図や白地図かもしません。そこに自分がなりのナビゲーションで人生のルートを描いていへることになります。

昔も今も、船というのは港を出て、一面に広がる大海原に出ると、その航路を船長は、羅針盤（コンパスとか方位磁石ともいいますが）で東西南北を定め、また何も見えない夜はその羅針盤と星座を目安に船を進めてきました。

しかし、人生に羅針盤（方位磁石）のような装置はありません。進むべき道は自分の考えで決めて行かなければなりません。大雨や嵐にあっても進まなければならぬといもあるかもしれません。

そんなとき、人生の羅針盤となるものが、意外と近くにあることを皆さんには知っているでしょうか。

それはあなたの方の周囲にいる人たちなのです。

親や兄弟といった家族との会話やその言葉、自分を知る友達の励まし、その言葉、反対に自分とは異なる考え方をもつた友達との出会いやその考え、あるいはこれから出会うであろう新しい先生の話、それに誰かのほんの何気ない一言など。

このように、実は、気づかなかつちにいろいろな人たちが君たちにアドバイスを送つてくれているのです。そして自分の進むべき道を指し示してくれているのです。

これから皆さんはさらに新しい多くの人と出会い、その人たちとも語らいを持つことでしょう。そのような周囲の人たちがあなた方を支えてくれていることを知っておけば、決して道に迷うことはありません。そういうこれから人生の道案

内となる、多くの新たな出会いを楽しみに、またぜひ大切にしてほしいと思います。

最後に、墨江丘中学校の三年生のみなさんが見せてくれた行動力は、行事や多くの地域交流において高い評価を得ました。その行動力でそれぞれの道筋先で、同じようくその能力を發揮してくれることを期待しています。そして、いつかまた、一回り大きくなつた君たちの明るい笑顔を学校に、ぜひ見せに来てください。

改めまして、ご来賓、地域、保護者、ならびにPTAの皆様に申しあげます。平素は、本校教育推進のため、何かとご理解、ご支援を賜りまことにありがとうございます。至らないところも学校には日々あろうかとは思いますが、家庭、地域、学校が連携して、この新しい時代に向けて墨江、清水丘と、素晴らしい街に相応しい将

来のあるべき学校の姿を創りだしてまいりたいと  
考えております。

今日、卒業します子どもたちも地域で育つ  
て来た子どもたちです。その子供たちの  
育成のため引き続き変わらぬご協力、ご指導い  
ただきますようお願ひいたします。その感謝と  
お願いをもちまして、私の式辞とさせていただ  
きます。卒業生の皆さんに栄光のあることをお  
祈りいたしております。

平成二十七年三月十二日

大阪市立墨江丘中学校 校長 渡邊 雅彦